

家

【発達領域】言葉の発達



お家の形のモビールや『家』の写真が飾ってあることに気づくと、指差しをして「あ!」「おーち」など子どもたちそれぞれの伝え方で教えてくれました。お家の絵本の扉を「ばあ!」と開けたり、遊びの中でお家や屋根の絵を見て、色や形にも触れることが出来ました。



「いってらっしゃい」「ばいばい」「おかえり」「ただいま」「どうも」など普段お家でもよく使う言葉のやり取りを、生活の中でも取り入れてみました。登園してお家の人と離れる時、お迎えの時、食事に行く時など毎日言葉や動作を繰り返していると、子どもたちもだんだんと理解し頭を下げてみたり、手を伸ばしてタッチしたりする姿が見られました。



まだ言葉は話せませんが、表情や身振り手振りなど体で表現をして伝えてくれています。

また、保育者やお友だちとの関わりも増え、安心できる保育者の側でじっくり遊んだり、友達に興味を示して近づいたり笑いかけたりと、距離もさらに縮まったように感じました。



3つ積めたよ!

色々な音! 楽しいなあ♪



【夢中になって遊んでいるおもちゃの紹介】

『ベビーブロック・ディスクバリー』

鈴や鏡、スタンドグラス、玉などひとつひとつに特徴がある積み木で、色々な発見・探索を楽しめるおもちゃです。



『ベビーブロック・サウンド』

音の仕掛けもたくさんあるので、感覚を刺激し、心地よい音に触れながら楽しめる積み木です。



色を見る、振って音をならす、重ねる、崩す、並べるなど、様々な遊び方をして楽しんでいます♪くり返し遊ぶことで自然と指先の発達にも繋がっています。



輸入/ブラザージョルダン社 (日本)

製造/HABA ハバ社 (ドイツ)



絵本が大好きな子どもたち。

身近にいる動物やお家で飼っている動物が出てくる絵本を置いてみると、初めは目を向けたり指差しだけだった子ども、何度も繰り返し読んで言葉で伝えることで、「にゃんにゃん」「わんわん」の言葉が出るようになりました。

絵本を読むことが、絵と名前の一致、言葉の理解、それが発語へと繋がっていきます。

また、絵本コーナーはお家のようなゆったりくつろげるスペースになっています。こもれる狭い空間は、お母さんのお腹の中にいたときの感覚に似ているため安心感があり落ち着くようで、日々子どもたちが集まる場所となっています。



家族写真を見ると、指差しをしながら「**ぱぱ・ママ**」などの言葉が出てくるようになりました。

家族の姿が見えると子どもたちは安心し、嬉しそうな表情を見せています。

また、おはなしゆびさんの手遊びで、ぱぱ・ママなど家族にも触れながらスキンシップをとっていると、もう一回やってと手を出してくる様子も見られました。

ぜひお家での親子時間に触れ合い遊びをしてみてくださいね。



Happy Birthday

5月・6月生まれのおともだち

